

はなれていても

佐藤 順子 さん (上飯樋) 福島県福島市在住

避難が続く中、福島市に設置された「いいたて子育て支援センター」すくすく」で平成26年末の開所から昨年の閉所まで勤務し、現在は福島市内の子育て支援センターで仕事をしています。当時「すくすく」の利用者は、初めての子育てで村とまだ関わりのない方も多く、一方の私達は元の村にこだわっていたので、そのギャップに気づくまでが苦勞でした。気づいてからは「誰のために」という方向性が明確になり、活動も充実していききました。今振り返ると、楽しかったですね。惜しまれた閉所でしたが、元は村から移した施設。「そうだ10年が経ったんだよね」という気持ちに皆がなったと思います。

進めていました。実家のある茨城県水戸市に避難しましたが、やはり親子で暮らすと、長女の中学入学に間に合うよう福島市に移りました。その頃は大人も避難や仕事に大きな不安を抱えていました。「お友達のない新しい学校には転校したくない」という子どもの気持ちに寄り添おうとはしていても、完全にはできていなかったと思います。むしろ子どもも成長や、時々楽しそうに笑う姿に大人がいやされ、頑張っていたのだと思います。



「すくすく」で。(平成27年)
※座っている人の右端が佐藤さん

がたい経験も数多くあつて、そうした全てが今の私達をつくっていると思うようになりました。そして大事なことは「これから」なのだと思っています。大切な思い出と経験も、外に出たからこそ宝物のように思うのかも知れません。飯舘村はお父さんやじいちゃん・ばあちゃんが生まれ育った場所。昔はこうだった、あなた達はこんな風に育ったと子ども達にはこれからも伝えていこうと思っています。

パークゴルフ大会で交流



11月6日、『飯舘村老人クラブ連合会』が『いいたてパークゴルフ場』で、『第11回飯舘村老人クラブ連合会P・G大会兼第7回福島民報社杯P・G大会』を開催。74人の出場者が、笑顔あふれる交流と真剣勝負を楽しみ、男子の部では高橋則雄さん(二枚橋・須萱)、女子の部では佐藤廣子さん(大久保・外内)が優勝しました。

愚真会が新蕎麦イベントを開催



11月6日・7日、『いいたて愚真会』の皆さんが、『いいたて村の道の駅までい館』で新蕎麦のイベントを開催しました。この秋収穫されたばかりの『前田明神そば』の蕎麦粉で、チームワークよく蕎麦を打ち、打ち立てをレストランメニューに提供。持ち帰り用の蕎麦の販売も行いました。

身近な話題をお寄せください
☎0244-42-1613
村づくり推進課企画係

話題のパレット

『かぼちゃランタン』勢揃い



ハロウィンに合わせて、役場玄関と『ふかや風の子広場』に、個性豊かな『かぼちゃランタン』の一団が登場! 村で育ったカボチャを使い、役場の若手職員と村民の有志が協力して、約40個を製作しました。多くの人が足をとめ、手作りの灯りのイベントを楽しんでいました。

おもちゃカボチャの収穫祭



10月30日、草野地区の小さな畑『マープルフาร์ม』で、おもちゃカボチャを収穫するイベントが開かれました。『ふくしま再生の会』の主催です。たくさんの親子連れが村内外から来場し、収穫したカボチャに顔を描いたり、サツマイモ掘りを体験したり、畑の休日を楽しみました。



交流センター「ふれ愛館」だより

『希望の里学園』の2年生が来館

11月9日、『いいたて希望の里学園』の2年生が、生活科の学習で来館しました。図書館の利用の仕方や「ふれ愛館」の役割について積極的に学んでいましたよ。



「本の貸し出し」を体験して、利用方法を学びます。1人5冊ずつ好きな本を選んで借りました。それぞれ読んでみたい本がたくさんあった様子で、じっくり吟味して5冊を選んでいました。



「どうして本がたくさんあるのですか」「全部で何冊ありますか」と次々に質問。“知りたい”気持ちがきらきらの瞳に表れていました。これからたくさん本を借りに来てくださいね。

問 交流センター「ふれ愛館」

☎0244(42)0072